

平成 29 年 2 月 16 日

国公立大学図書館長 殿

国公立大学図書館協力委員会委員長  
筑波大学附属図書館長

西川 博 昭 (公印省略)

日本学術会議「第 23 期学術の大型研究計画に関する  
マスタープラン(マスタープラン 2017)」について (通知)

平素より、本委員会の活動に対しご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2 月 8 日に日本学術会議から提言「第 23 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン(マスタープラン 2017)」が公表され、この中で「電子ジャーナル・バックファイル等へのアクセス基盤の整備」が重点大型研究計画(施設)の一つとして選定されましたのでお知らせいたします。

また現在、文部科学省では「学術研究の大型プロジェクトの推進方策の改善の方向性(案)」に関するパブリックコメント(意見公募手続き)を実施しています。この案は日本学術会議のマスタープランを踏まえて、ロードマップを作成する等の推進方策を定めるものです(詳しくは次頁の「補足説明」を参照)。

今後、この提言を踏まえて文部科学省から大規模学術フロンティア促進事業の一つとして概算要求がなされ、予算が措置されることを当委員会としても期待し、このパブリックコメントに意見を提出したことを合わせてご報告いたします。

○第 23 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン (マスタープラン 2017)

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-23-t241-1.html>

※「電子ジャーナル・バックファイル等へのアクセス基盤の整備」：計画番号 150

○ 「学術研究の大型プロジェクトの推進方策の改善の方向性(案)」に関する意見募集の実施について

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1381836.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1381836.htm)

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=185000875&Mode=0>

※意見の募集期間：2 月 6 日(月)～2 月 20 日(月)

<補足説明>

○「電子ジャーナル・バックファイル等へのアクセス基盤の整備」の概要

国立情報学研究所が大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）との連携・協力により、電子ジャーナル・バックファイルや人文社会科学分野の電子資料コレクションについて、体系的に導入を図り、NIIが運用する電子リソースリポジトリ（NII-REO）に搭載して提供することにより、日本全国の大学等機関による共同利用を実現する計画です。

○マスタープランの位置づけ

このマスタープランは、学术界に提案募集した計画の中から日本学術会議が選定し、我が国の大型研究計画のあり方について、一定の指針を与えることを目的として策定されています。直ちに予算化されるものではありませんが、「我が国の学術政策、さらに関係省庁、大学、研究機関等における具体的施策や予算措置に活かされるよう提言」（マスタープラン要旨より）されています。

○今後のプロセス（予定）

- (1) 日本学術会議において「マスタープラン」策定
- (2) 「マスタープラン」を踏まえつつ、文部科学省 学術審議会 研究環境基盤部会 学術分科会 学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会において「ロードマップ」策定
- (3) 概算要求に先立ち、同作業部会において、ロードマップ策定の際に指摘された主な課題への対応状況などを含め、事前評価を実施
- (4) 事前評価を踏まえ、文部科学省において着手すべきと判断したものについては、大規模学術フロンティア促進事業として概算要求
- (5) 大規模学術フロンティア促進事業として予算が措置された各プロジェクトについて、進捗管理を行うため、原則10年間の年次計画を策定
- (6) 年次計画に定めた年度に評価（進捗評価、中間評価、期末評価）を実施

※ 「学術研究の大型プロジェクトの推進方策の改善の方向性（案）」より引用

※ 現在は(1)の段階

○パブリックコメントへの対応について

「学術研究の大型プロジェクトの推進方策の改善の方向性（案）」で「踏まえる」として「マスタープラン」は、基本的に「大型『研究』計画」に関するものです。学術研究の大型プロジェクトに係る評価の基準が「『研究』計画」としての評価色が強くなり、本件のような全分野の研究を支える共通基盤整備事業が評価され難くなることも予想されます。

そこで、当委員会としては、「2. 大型プロジェクトの推進方策について」の（1）について「ロードマップの策定にあたっては、直接的な研究のみならず、電子ジャーナルのバックファイル等整備など、全研究分野を横断的に下支えする基盤整備の重要性が十分に考慮されることを希望します。」との意見を提出いたしました。

各館等でパブリックコメントを送る際には、これをご参考に、改善の方向性について言及していただけると幸いです。

以上